

社会福祉法人 塩尻市社会福祉協議会

# 第6次地域福祉活動計画

## 【概要版】

2024（令和6年度）～2032（令和14年度）



2024（令和6年）3月



# 第1章 塩尻市地域福祉活動計画の概要

## 1 計画策定の趣旨

社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会は、住民自らが役割を持ちながら地域活動に参加し、安心して住み続けることができる地域をつくるため、平成7年度に第1次地域福祉活動計画（ささえあいしおじり福祉プラン）を住民を代表する皆さんとともに策定しました。

以降、住民の皆さんの地域課題に耳を傾け、少子高齢化やライフスタイルの多様化といった社会構造の変化に対応しながら、住民と協働し時代にあった計画づくりを進め、第5次地域福祉活動計画を策定してきました。

令和5年度までの第5次地域福祉活動計画は、地域の縁側づくり、有償福祉サービスなど住民同士の見守り活動の促進、福祉サポーターをはじめとする担い手育成を重点項目に掲げ、買い物弱者等の交通課題を解決する取り組みや、子ども食堂や子どもの居場所づくりの立ち上げ等を住民、行政、社協とで協働・連携し進めてきました。

令和6年度を初年度とする第6次地域福祉活動計画は、生活困窮、社会的孤立、8050問題、ヤングケアラー、虐待問題などの多様化し複雑化した課題の解決を図る仕組みづくり、小さいころから地域に愛着を持ち、地域に暮らす皆さんが相互に支え合うことのできる「地域共生社会」を更に促進するための計画です。SDGsの理念を尊重しながら、ICT、e-スポーツやSNS等の活用と普及に取り組み、時代に即した新たな形の見守り活動、担い手育成、地域づくりを住民、行政とともに取り組みます。

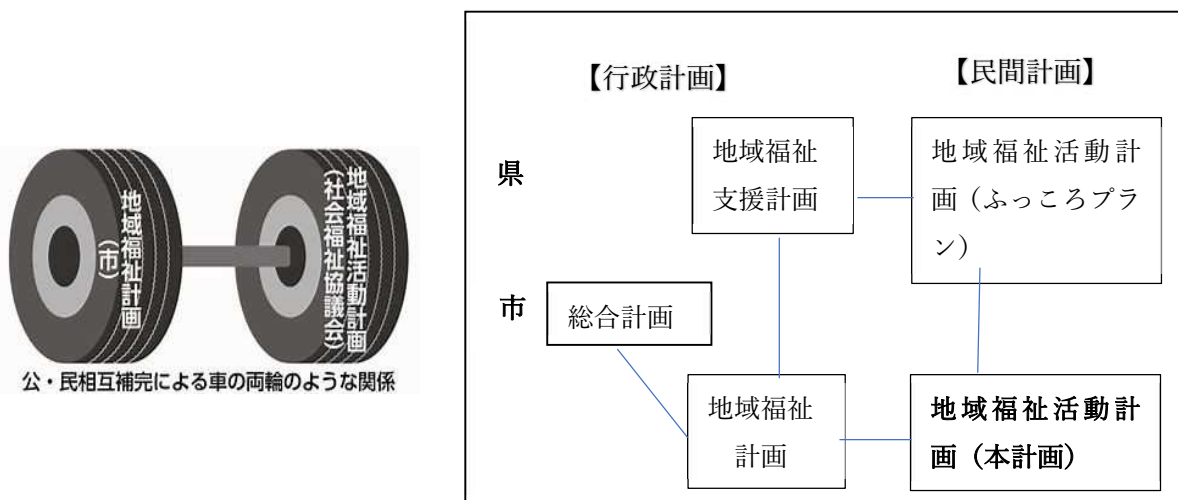


## 2 計画の根拠・位置づけ

地域共生社会の実現に向け、塩尻市の地域福祉を推進するための理念、総合的な方向性を示したものが、市が策定する地域福祉計画です。塩尻市総合計画を上位計画とし、地域福祉の理念やビジョンをまとめたもので、長野県地域福祉支援計画と相互に連携を図っています。

地域福祉活動計画は地域住民が関係団体等と連携しながら、住民が主体となって地域福祉を進めるための具体的な行動計画を定めたもので、長野県地域福祉活動計画と相互に連携を図っています。

地域福祉計画と地域福祉活動計画は、相互に連携を図り車の両輪と言える関係です。



## 3 計画の期間

第6次地域福祉活動計画（以下、本計画）は、塩尻市の行政計画である第四次地域福祉計画と同一の期間である2024（令和6年度）から2032（令和14年度）を策定期間としています。

本計画は3年ごとの節目に見直しを行い、社会経済情勢を踏まえ、必要に応じて柔軟に変更します。

## 4 策定の体制・市民の参画

本計画の策定にあたって、行ったことは以下のとおりです。

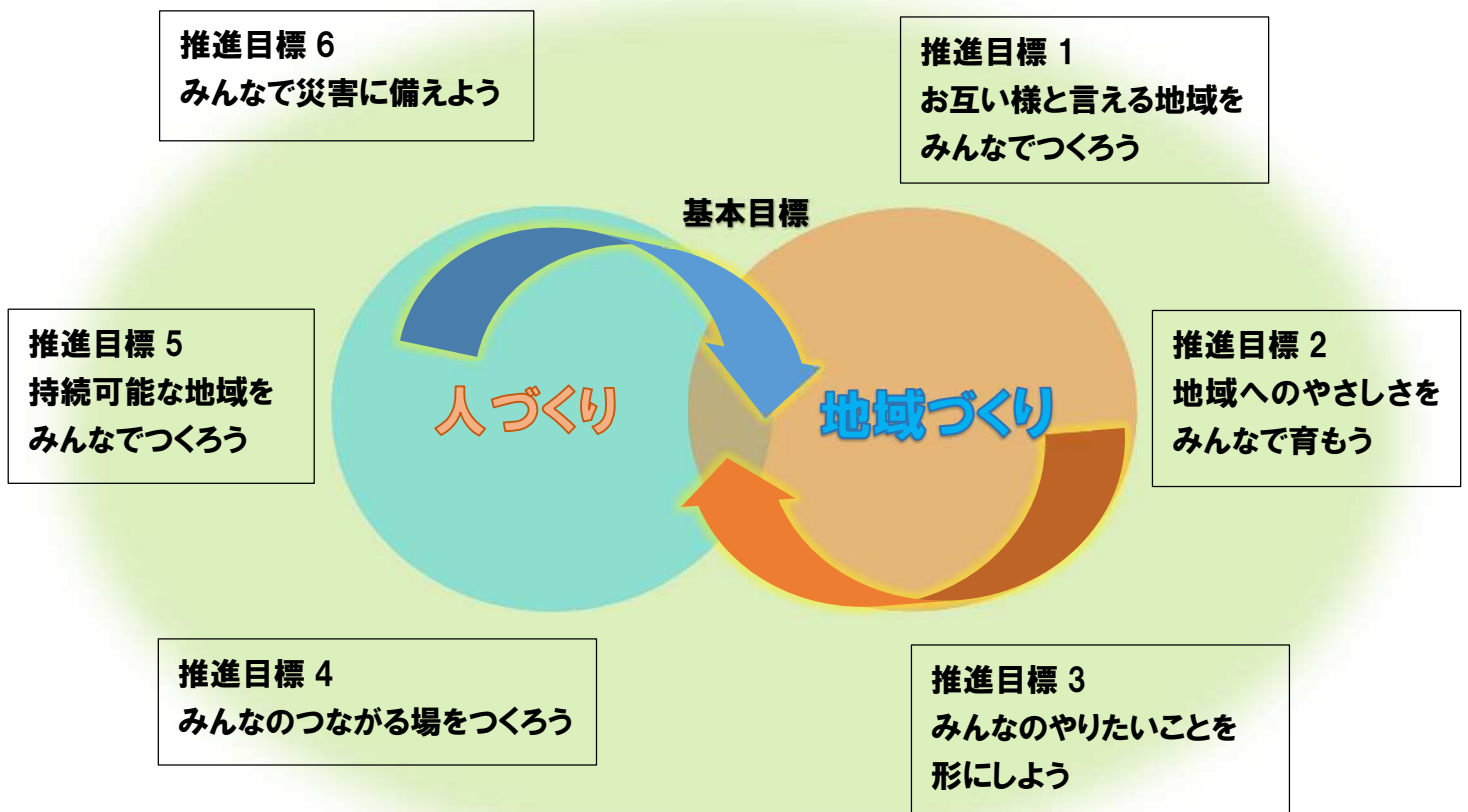
- ・中学生・高校生／子育て世帯／企業へのアンケート（令和4年11月～12月）
- ・社会福祉協議会支部福祉懇談会でのアンケート（令和4年11月～令和5年2月）
- ・民生児童委員協議会地区会でのワークショップ（令和5年6月～8月）
- ・ふれあいセンターでの住民ワークショップ（令和5年7月～8月）
- ・社会福祉協議会支部福祉懇談会での素案の聞き取り（令和5年8月～11月）
- ・本計画案についてのパブリックコメント募集（令和5年12月～令和6年1月）
- ・社会福祉協議会理事会及び評議員会での案の聞き取り（令和6年3月）

## 第2章 活動計画の体系

### 1 基本理念・概念図

**塩尻市地域福祉計画基本理念**  
誰もが役割と生きがいを持てる地域共生社会の実現  
〈ありたい姿〉  
ゆるやかなつながりと、感謝が循環する「お互い様文化」で  
暮らしを支え合い、困りごとの解決に寄り添えるまち

**塩尻市地域福祉活動計画基本理念**  
誰もが役割と生きがいを持てる地域共生社会の実現  
のため、住民・関係機関・団体・行政などが協働するまち



## 2 推進目標一覧

推進目標	施策の方向性	具体的活動項目
推進目標 1 <b>お互い様と言える地域を みんなでつくろう</b>	<b>助け合いの「心」を育て、支え 合う地域をつくる</b>	1 ほっとけないをほっとかない 2 みんなで意識を高めよう
推進目標 2 <b>地域へのやさしさを みんなで育もう</b>	<b>みんなで「愛着」「関心」が持 てる地域をつくる</b>	1 自分とまちを好きになろう 2 みんなちがってみんないいを当たり前 にしよう 3 地域貢献活動を広げよう・応援しよう
推進目標 3 <b>みんなのやりたいことを 形にしよう</b>	<b>地域活動への「参加」を進め、 地域を支える担い手をつくる</b>	1 できることから始めよう、地域の行事 を知ろう 2 仲間同士つながろう 3 協力できる仲間を増やそう、協力しあ おう
推進目標 4 <b>みんなのつながる場を つくろう</b>	<b>地域 みんなが「集い・つな がる場」をつくる</b>	1 住民同士が集える場をつくろう 2 集いの場でつながろう
推進目標 5 <b>持続可能な地域を みんなでつくろう</b>	<b>地域課題の解決に向け、支え 合う仕組みをつくる</b>	1 持続可能な地域活動をしよう 2 地域課題の解決をしてみよう
推進目標 6 <b>みんなで災害に備えよう</b>	<b>防災力を「高め」、災害に備え た地域をつくる</b>	1 地域の防災について考えよう 2 逃げ遅れゼロをめざそう 3 復興のために自分ができることをしよ う

# 推進目標 1 お互い様と言える地域をみんなで作ろう



## 具体的活動項目 1 ほっとけないをほっとかない

## 具体的活動項目 2 みんなで意識を高めよう

### 【現状・課題】

子育て世帯へのアンケートでは、ご近所の人とほとんど付き合いはないと答えた人は7.6%でした。  
また、隣近所に手助けの必要な人がいるのかわからないと答えた人は41.6%でした。  
→地域の中にお互い助け合えるような関係性が築けていないことが伺えます。

### 【目指す姿】

隣近所と顔なじみの関係ができており、地域の中でお互いが助け合えるような関係性ができている。

### 【キーワード】

見守り、孤立させない、おせっかい、助け合い・支え合い、お互い様、困窮者支援

## 具体的活動項目 1 ほっとけないをほっとかない

### 一人ひとりができること

- ・子どもも大人も顔なじみの関係をつくり、困っている人がいたら声をかけよう。
- ・隣近所の違和感に気づこう。(例:最近姿を見ない、夜電気がつかない日が続いている)
- ・気がついた違和感をそのままにしないようにしましょう。(例:行政や民生児童委員へつなげる)
- ・困った時は、一人で抱え込まず身近な人や相談窓口にご相談しよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・多世代の地域住民が集まる場をつくり、地域のことを話す機会をつくろう。
- ・困った時の相談先を確認しよう。
- ・困った人に気づいたら、相談窓口につなげよう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・子ども、障がい、高齢、生活困窮、地域課題を抱える地域住民に対する支援体制を整え ICT、SNS を活用しながら福祉まるごと相談ができる仕組みをつくれます。
- ・訪問、電話による相談、地域会議に出向く等により地域課題の発掘、把握をし、課題に見える化します。
- ・相談窓口等の情報発信をします。
- ・相談があった際の対応を速やかに行います。
- ・民生児童委員等からの相談時、支援経過や対応状況を共有し、支援を一緒に考えます。

## 具体的活動項目 2 みんなで意識を高めよう

### 一人ひとりができること

- ・日ごろから隣近所で気にかけて、お互い様の意識を持つ。
- ・自分でできることに取り組もう。(例:話し相手、見守り)
- ・困った時には「助けて」と自分でも言える、助けられ上手になろう。
- ・ICT(例:スマートフォン、見守り機器)を活用し見守り、見守られよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・様々な世代、考え方や生活スタイルの異なる人たちと接し、お互いに理解を深めよう。
- ・お互いの考えを尊重しよう。
- ・ゆるやかにつながり、地域のスタイルに合わせた見守り体制を考えよう。(例:様々な活動や交流の場づくり)

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・地域を身近に感じてもらえるよう、座談会などを通じ、自分の地域を考える場をつくります。
- ・相互に思いあえる地域となるよう権利擁護の啓発をします。
- ・ICTを活用した見守りの仕組みづくりを進めます。

### 一口メモ ①

#### ～見守りには様々な形があります～

例

- ・遠くからそっと見守る
- ・回覧板を回すときやゴミ出しのときなど、何かのついでに声をかける
- ・サロン等地域の居場所で心身状況の変化を見る
- ・地域の人と遠方に住む家族が、連絡先を交換しておく
- ・ICTやSNSを活用し直接的・間接的に見守る



地域の居場所



子育てサロン



無理のない範囲でお互い見守り、見守られる関係って素敵ですね

## 推進目標 1

お互い様と言える地域をみんなでつくろう！

どうしよう... 声をかけてあげたいけど、なんて声をかけたらいいんだろう...

勇気を出して、俺たちにできる範囲で声をかけてみようよ！

あー！

お！

可愛いですね、おかしな人！

ありがとうございます！

「少しの勇気が誰かの支えになるね！」

## 推進目標 2

地域へのやさしさをみんなで育もう

登校中にて

大変そうだな

手伝おっか

高田さん、おはようございます

学校に行く通り道だからゴミ捨て手伝っよ

おお、ありがとうございます

家にて

今日、高田さんのゴミと一緒に持って行ったんだよ！

いいことをしたね。

大変そうな人を見つけたら、助け合うことが大切だね。近くだし、お母さんも今度手伝おっかな

地区の集まりにて

自分たちもできることを、

これからもやれるといいね

そうだね。ほかに困っている人がいるかもね



## 推進目標2 地域へのやさしさをみんなで育もう



具体的活動項目 1 自分とまちを好きになろう

具体的活動項目 2 “みんなちがってみんないい”を当たり前にしよう

具体的活動項目 3 地域貢献活動を広げよう・応援しよう

### 【現状・課題】

中・高生へのアンケートでは、大人になっても塩尻市に住み続けたいと答えた人は38%でした。  
→全世代に“塩尻のファン”を増やしていくため、子どもころから地域に住む多様な人・機関とつながる機会をつくり、市に関心・愛着が持てる人を、更に増やしていく取り組みが必要です。

### 【目指す姿】

福祉教育や地域貢献活動の展開を通して、地域に愛着を持つ人が増えている。

### 【キーワード】

未来へ向けた地域力づくり、福祉教育、生涯学習、困りごとを抱えている人への理解、福祉的関わり、企業の貢献活動の後押し

## 具体的活動項目 1 自分とまちを好きになろう

### 一人ひとりができること

- ・自分の良いところ、身近な人の良いところを褒め合おう。
- ・自分の地域の好きなどころを思い浮かべてみよう。
- ・自分の関心のあることを学習しよう。
- ・身近な地域課題について学習しよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・まちを好きになれるきっかけをつくろう。  
(例:人とふれあう場、自然とふれあう場、歴史とふれあう場、特産品とふれあう場)
- ・子どもや若者が企画に関われるよう工夫しよう。
- ・子どもの「成功体験」を地域の中で育もう。
- ・地域の企業を知る機会をつくろう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・学校、公民館と連携した福祉教育を推進し、“自分とまち”を好きになる仕掛けをつくりまします。
- ・学校と地域をつなげ、地域の魅力を知ってもらう取り組みをします。
- ・様々な地域福祉活動やボランティア活動(例:地域のつながりの場やしおりんお助け隊)の魅力を、広報誌やSNSで発信し、活動が身近になるようにします。

## 具体的活動項目 2 “みんなちがってみんない”を当たり前にしよう

### 一人ひとりができること

- ・困ったときに「助けて」と言える人、言ってもらえる人になろう。
- ・自分の周りに暮らしている人をできる限り思い浮かべてみよう。
- ・苦手な人、仲良くできない人と自分との「違い」と「同じ」を考えてみよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・地域の行事に顔を出さない人、出せない人を知ろう。
- ・自治会に加入していない人も遠くから見守ろう。
- ・困りごとを抱えている人から相談されたときは、同意を得た上で行政等につなげよう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・福祉教育を通して、障がい者・認知症・生活困窮者・多国籍文化に対する理解を広めます。
- ・個人が抱える生活上の困りごとを、地域で解決するための仕組みづくりを行います。
- ・すべての人に地域の情報が伝わるよう、要約筆記、手話など情報保障に携わる人材の育成に努めます。
- ・自分の思いを表現することが困難な人の代弁機能を果たせるよう、権利擁護支援の担い手を育成します。
- ・すべての人が尊重される社会のため、虐待の予防、早期発見ができる環境づくりを進めます。

## 具体的活動項目 3 地域貢献活動を広げよう・応援しよう

### 一人ひとりができること

- ・地域の企業がどんな貢献活動に取り組んでいるのか知ろう。
- ・地域にある商店や企業の商品を知ろう。買ってみよう。発信しよう。

### 地域・企業で取り組みたいこと

- ・地域と企業がつながろう。(例:地区の行事×企業、地域の見守り×企業、防災訓練×企業、清掃活動×企業)
- ・地域の人が活躍できる場を提供しよう。(例:就労、高齢者支援、移動支援)

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・取り組みやすい地域貢献メニューを提案します。
- ・企業が行う地域貢献活動を発信します。
- ・企業とともに地域課題への理解を深めます。
- ・市内福祉法人の公益事業化のための運営会議を設置する等、福祉・介護事業所との橋渡しをします。
- ・障害者雇用率向上を目指します。

各項目にある「企業」はNPO法人や社会福祉法人、医療法人といった多様な法人を含みます。

## 推進目標3 みんなのやりたいことを形にしよう



具体的活動項目 1 できることから始めよう、地域の行事を知ろう

具体的活動項目 2 仲間同士つながろう

具体的活動項目 3 協力できる仲間を増やそう、協力しあおう

### 【現状・課題】

支部福祉懇談会でのアンケートでは、地域の課題を話す場や、解決に向けた取り組みの場へ参加していると答えた人は6.7%でした。

→個人・団体のつながりが生まれるような働きかけが必要です。

### 【目指す姿】

協力できる仲間が増えている。

地域の中で気づいたやってみたいこと、できそうなことを形にする場がある。

### 【キーワード】

担い手育成、福祉教育、福祉人材、世代問わず活躍する場、仲間づくり、ボランティアのつながり、団体を結ぶ、横のつながり

## 具体的活動項目 1 できることから始めよう、地域の行事を知ろう

### 一人ひとりができること

- ・同じ地域に住んでいる人たちと、ボランティアなどの情報を共有しよう。
- ・好きなこと、得意なことを誰かに伝えよう。
- ・地域で行われている三九郎やお祭りなどの行事や助け合いの活動を知ろう。
- ・行事や助け合いの活動で、自分ができそうなことをやってみよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・行事や助け合いの活動に対して、意見や企画を募ろう。
- ・何かに取り組みたい人に、活躍の場を紹介しよう。
- ・地域の行事や助け合いの活動を維持していくため、地域の人に知ってもらえる仕組みを考えよう。
- ・地域の困りごとに地域で取り組める仕組みを考えよう。
- ・活動のための資金を生み出そう。(例:クラウドファンディング、募金活動)

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・興味、関心に添って、その人にあった活動を紹介します。
- ・活躍の場を生み出します。
- ・地域の中での活動を広報します。
- ・地域にあれば良いなと思う活動づくりを支援します。

## 具体的活動項目 2 仲間同士つながろう

### 一人ひとりができること

- ・自分たちが行っている活動を伝えあおう。
- ・自分たちと同じような考えを持つ団体や、一緒に活動できそうな団体とつながろう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・力を貸してもらいたい人と、協力できそうな人をつなげよう。
- ・一緒に活動できることは一緒にやろう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・活躍・協力している人を発掘し、活動者の情報を提供します。
- ・活躍・協力している人同士がつながる場をつくります。
- ・同じ目的の団体同士がつながる場をつくります。
- ・企業と福祉、学校等をつなげます。

## 具体的活動項目 3 協力できる仲間を増やそう、協力しあおう

### 一人ひとりができること

- ・地域の人に呼びかけよう。
- ・活動を理解してもらえる取り組みをしよう。(例:楽しさの PR、宣伝活動)

### 地域で取り組みたいこと

- ・活動・協力している人の発表会を開こう。
- ・自分たちにできることを考え、取り組もう。
- ・地域の誰もが「先生」「生徒」になり、新しいつながりをつくろう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・同じような活動をしている人たちをつなげ、できることがないか一緒に考えます。(例:多職種・多機関連携、協働事業の実施)
- ・活動における悩みごとが解決できるように支援します。
- ・理解者が増えるよう、取り組み事例を地域に紹介します。
- ・福祉サポーター等地域で活躍する人材を増やし、活動が継続できるよう後押しをします。
- ・身近な地域で講座を開催します。

各項目にある「企業」は NPO 法人や社会福祉法人、医療法人といった多様な法人を含みます。

## 推進目標4 みんなのつながる場をつくろう



### 具体的活動項目 1 住民同士が集える場をつくろう

### 具体的活動項目 2 集いの場でつながろう

#### 【現状・課題】

子育て世帯へのアンケートでは、付き合いを大切にしたいと答えた人は51.6%でした。  
また支部福祉懇談会でのアンケートでは、住民が気軽に立ち寄れる場所があると答えた人は14.2%でした。(複数回答可)  
→人と関わりを持ちたいと感じている人が参加できる場・機会が少ないことがわかります。

#### 【目指す姿】

気軽に集える場・機会が多くある。

#### 【キーワード】

集える場、気軽につながる場づくり、世代間交流

### 具体的活動項目 1 住民同士が集える場をつくろう

#### 一人ひとりができること

- ・集いの場にお互い様の関係性を持ちながら、参加しよう。
- ・同じ思いを持った仲間を集めよう。
- ・集いの場をつくるために必要な情報を集めよう。(例:資金、活動例の収集、行政等への相談)

#### 地域で取り組みたいこと

- ・身近にある集まれる場を活用し、地域で孤立する人が出ないように、見守り活動を進めよう。
- ・行きたい時に通える集いの場を作り、地域参加のきっかけとなる場を増やしていこう。(例:地域の特産品や食を生かした料理教室、肩をはらずに気軽に語ることができる場)
- ・公民館など地域にすでにある場所の活用を考えてみよう。(例:世代間交流)

#### 社会福祉協議会の取り組み

- ・世代間交流や子育て世帯向け支援といった、地域のニーズにあった集いの場づくりを提案します。(例:子どもを預けられる場づくり)
- ・集いの場の立ち上げと、その後においても必要に応じ支援を行います。
- ・集いの担い手をつなげ、各活動が活発となるよう支援します。

## 具体的活動項目 2 集いの場でつながろう

### 一人ひとりができること

- ・日ごろから隣近所に声をかけあい、気軽にコミュニケーションを取ろう。
- ・地域の行事に積極的に参加してみよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・地域の中で孤立しがちな人に、集いの場への参加を呼びかけよう。
- ・役割を持つことができる居場所を作ろう。(例: 畑仕事やスマートフォンの使い方等、趣味や特技を教える場)
- ・集いの場に参加した人のちょっとした変化に気づき、声をかけよう。
- ・e-スポーツ等を活用し、世代間交流の場を作り地域住民同士が顔なじみになろう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・隣近所で見守り、支え合える地域づくりを進めます。
- ・地域の人からの相談に対し、地域から孤立しないよう関係機関と連携・協働し、ネットワークの構築につなげます。
- ・より多くの人に参加できる方法を考えます。(例: 会場まで行く交通手段がない、病気や障がいがあり参加できない、家族を家に残して参加できないといった場合の参加方法)
- ・ICT(例:e-スポーツ)を活用した地域の実践例を紹介します。

### 一口メモ ②

#### ～住民同士の見守りのポイント～

例

- ・電気がつきっぱなし、又は消えたままになっている。
- ・郵便受けが溢れている。
- ・洗濯物がずっと干しっぱなしになっている。
- ・最近姿を見かけなくなった。
- ・表情や身なりが以前と変わった。
- ・訪問しても雨戸、カーテンが閉めっぱなしになっている。



ちょっとした違和感に気づいたときは・・・  
行政・地域包括支援センター・社協などの  
専門機関につなげましょう。



### 推進目標 3



### 推進目標 4



## 具体的活動項目 1 持続可能な地域活動をしよう

## 具体的活動項目 2 地域課題の解決をしてみよう

### 【現状・課題】

中・高生へのアンケートでは、81%の人が地域の行事や活動に参加したことがあるという結果でした。一方で参加したことがないと答えた人の中で、興味がないと答えた人は45.6%でした。(複数回答可)  
→様々な手法により、住民が地域活動に興味を持ち接点を持てるよう整備していくことが求められます。

### 【目指す姿】

地域活動に参加しやすい環境ができている。

自ら考え地域課題の解決に向けた取り組みができる支え手が増えている。

### 【キーワード】

負担の少ない活動、文化・伝統行事、地域課題の解決、地域の良さや課題を見つける、行動を起こす

## 具体的活動項目 1 持続可能な地域活動をしよう

### 一人ひとりができること

- ・ボランティアや地域の活動で、できることがあればやってみよう。
- ・地域の活動を絶やさないために、清掃や行事など地域活動に参加しよう。
- ・身近な地域で行われている活動や興味のあることに参加してみよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・男女や世代等の属性を問わず、興味が持てる地域の行事や活動をしよう。
- ・地域の行事や活動を広く広報しよう。
- ・地域の活動を定期的に見直し、地域や区の役員が負担感なくできる活動をしよう。
- ・参加者が増えるための仕組みを考えよう。
- ・地域の資源を活用した取り組みを考えよう。(例:空き家、公園)

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・社協事業や地域活動の広報の充実を図り、負担感の少ない地域活動方法をともに考え、情報共有・発信に努めます。
- ・地区やボランティア活動団体の活動が継続するための支援をします。(例:活動の担い手育成、相談)
- ・世代に合った広報手段の整備と活用及び周知と連携をします。(例:ICTの活用、紙媒体)
- ・活動に参加したい住民と、参加者を募りたい地域活動をつなげます。



## 具体的活動項目 2 地域課題の解決をしてみよう

### 一人ひとりができること

- ・公民館活動や地域の集まりに参加し、地域課題について知ろう。(例:交通の問題、買い物の問題、地域の危険か所)
- ・自分にできることがないか考えよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・行政等から情報を得て、複合的な課題を解決した例を共有しよう。
- ・地域の困りごとについて、気軽に話すことのできる場をつくろう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・地域課題解決に向けた地域活動の立ち上げ支援や、チャレンジできる場づくりを行います。
- ・地域だけでは解決できない課題に対し、多職種・多機関協働のもと、課題解決に向け取り組みます。
- ・地域の困りごとを行政へつなげます。(例:実態報告、課題解決に向けた提言)
- ・地域福祉の拠点である「ふれあいセンター」が、より身近な地域の相談窓口になるよう努めます。

### 一口メモ ③

#### 訪問での見守り例

(一人暮らしの男性 Aさん80代)

電気がつきっぱなしの家があることに気づいた近所の方が民生児童委員へ相談。

区長へつなげ、区長から警察へ・・・

自宅で倒れているAさんを発見。早期に対応ができた。

#### 地域の居場所・集いの場での見守り例

(日ごろから集いの場に参加しているBさん)

スタッフや他の参加者と会うのを楽しみにしている。ある日、いつもより元気がなく、身だしなみも整っていないBさんを心配した参加者が病院への受診を勧めると・・・

認知症の初期症状だったことが判明。

困りごとを抱えていることに気づき、早期に対応ができた。

困った時には「助けて」と自分でも言える、

助けられ上手になることも大切ですね。



## 推進目標6 みんなで災害に備えよう



具体的活動項目 1 地域の防災について考えよう

具体的活動項目 2 逃げ遅れゼロをめざそう

具体的活動項目 3 復興のために自分ができることをしよう

### 【現状・課題】

地縁コミュニティに関するアンケート(令和4年1月～2月、地域づくり課・企画課実施)では、暮らしやすい地域として災害に強い地域と答えた人は47.5%でした。

また、住民とのつきあいにおいて、相談したり助け合えるようなつきあいをしていると答えた人は12.6%でした。(複数回答可)

→災害時の備えや近隣とのつながりを大切にし、日ごろから災害時に安否確認できる関係づくりを進めていくことが求められます。

### 【目指す姿】

地域における「逃げ遅れゼロ」を目指し、日ごろから地域住民が防災意識を高めている。

### 【キーワード】

災害への備え、災害ボランティア、災害に備えた日ごろの関わり、災害時にできること

## 具体的活動項目 1 地域の防災について考えよう

### 一人ひとりができること

- ・防災訓練に参加しよう。
- ・防災に関する講座に参加し災害への知識を増やそう。(例:災害に応じた避難方法、災害伝言ダイヤルの使用方法、家族のルール決め)
- ・防災グッズを準備しよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・防災訓練を実施し、多くの人に参加を呼びかけよう。
- ・地域で防災について考える機会をつくろう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・災害時に備えた日ごろからの支え合いづくりの必要性を周知します。
- ・防災に関する講座や避難所開設訓練を行います。

## 具体的活動項目 2 逃げ遅れゼロをめざそう

### 一人ひとりができること

- ・隣近所の住民同士、顔の見える関係になろう。
- ・小さなことでも気軽に相談しあえる関係をつくろう。
- ・家や職場の避難ルートを確認しよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・日ごろから住民同士が気にかけて関係をつくろう。
- ・災害時の避難等について、住民の意見を聞き、行政等に要望しよう。
- ・地域の団体同士(区、民生委員、社協分会、集いの場、ボランティア団体等)が協力し、見守り活動をしよう。
- ・ICT を活用した安否確認の方法を検討しよう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・支え合いマップづくりなどを通じ、地域の支え合いの体制づくりを行います。
- ・地域の見守り活動について情報発信を行います。
- ・見守り活動や支え合いについての理解が深まるよう、講座などを積極的に行います。

## 具体的活動項目 3 復興のために自分ができることをしよう

### 一人ひとりができること

- ・災害ボランティアを知ろう。
- ・災害ボランティアに参加しよう。

### 地域で取り組みたいこと

- ・地域の被災状況を想定し、意見を出し合おう。
- ・被災時に新たに発生するであろうニーズを想定し、備えよう。

### 社会福祉協議会の取り組み

- ・企業の地域貢献活動の推進、支援を行います。
- ・災害ボランティアの受け入れを想定した事前準備をします。
- ・災害ボランティアに関する情報発信を行います。

各項目にある「企業」はNPO 法人や社会福祉法人、医療法人といった多様な法人を含みます。

# 推進目標 5

**持続可能な地域をみんなで作ろう!**

元氣だった？  
今何してんのー？  
久しぶりー

……そういえば、小学生の頃は、お祭りや三九郎やラジオ体操に地区の運動会…たくさんあったよね。  
地域の大人たちが色々教えてくれたね。

今もそういう行事ってやってるのかなあ？  
あんまり聞かないね…  
お祭りや三九郎なんて特に、大人がいなくてできない行事だよな  
今もやっているなら見に行きたいね!!

地域行事を大切にしていきたいね！  
僕たちが協力することで伝統行事が続いていくかもしれないね  
来年から、子供達と一緒に参加してお手伝いできたらいいな

# 推進目標 6

**みんなで災害に備えよう**

家にて  
最近、地震情報が多いね

○月×日、△△県を震源に地震が……

普段、隣近所との交流ってないし…災害が起きた時みんなどうやって避難するのかな？

あ、うちに逃げよう  
うん！  
ブオオオオ  
そうだね！

避難場所や避難ルートは分かっているけど、そこに行くまでに手助けが必要な家ってどれくらいあるのかな？  
うーん、顔の見える関係なら、いざというときに声をかけやすいかも…

防災訓練に参加したり、日ごろから気にかける関係をつくれるといいね

企業の社会貢献活動の紹介

○～SAS@Nagano（サスながの）の取り組み～

「企業」と「社協」がパートナーシップを組み、災害に強い地域づくりに取り組む

令和元年度の台風19号災害において「日ごろから災害ボランティアセンターの現場を担う社会福祉協議会とつながっていれば、企業としての応援活動を展開できたのに・・・」との声から、損保ジャパン株式会社が長野県をモデルに長野県社会福祉協議会と「災害ボランティアセンター応援企業パートナーズ サスながの」を設立しています。

災害ボランティアセンター応援企業パートナーズ  
サスながの SAS@Nagano イメージ図



○取り組み例

- 協働による地域防災訓練モデル事業の実施  
例) キッチンカー✕EV(電源車)+福祉チーム 防災訓練  
例) ICTを活用した福祉防災システム
- 災害ボランティアセンター運営に備えた応援企業と市町村社会福祉協議会の連携促進
- 災害時の企業の社会貢献活動を促進するセミナーや人材育成、担当レベルのホットライン構築
- 災害ボランティアセンター運営に備えた「現場情報応援サイト」の運営、企業の「できることリスト」の作成促進

社会福祉法人長野県社会福祉協議会ホームページより

---

---

## 第 6 次地域福祉活動計画

編集・発行：社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会

〒399-0705 塩尻市広丘堅石2151-2

電話 0263-53-7564 / FAX 0263-53-5029

Eメール info@shiojirishakyo.or.jp

ホームページアドレス <https://www.shiojirishakyo.or.jp>

発行年月 令和6年3月

---

---